

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	技術倫理	
科目基礎情報							
科目番号	0024			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	環境建設工学専攻			対象学年	専2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	指定しない。必要な資料はプリントで配布する。						
担当教員	小谷 俊博						
到達目標							
・ 一般的な倫理学理論および技術者倫理に特化した理論を理解すること ・ 技術者の社会における位置づけおよび役割を理解すること ・ 技術者が実際に直面した事例をもとに、どのような倫理的判断が可能かについて展望を持つことができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	技術者に特有の倫理問題とは何かを明確に説明できる。			技術者に特有の倫理問題とは何かをある程度説明できる。		技術者に特有の倫理問題とは何かの説明できない。	
評価項目2	技術者が直面してきた具体的な事例について明確に説明できる。			技術者が直面してきた具体的な事例についてある程度説明できる。		技術者が直面してきた具体的な事例について説明できない。	
評価項目3	倫理問題に直面した際に適切に議論することができる。			倫理問題に直面した際にある程度議論することができる。		倫理問題に直面した際に議論することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
専攻科課程 A-2 JABEE A-2							
教育方法等							
概要	技術者倫理の基本的な内容を学習する。						
授業の進め方・方法	基本的な学習事項はスライドで示し、毎回の課題が提示されるFormsの提出までを授業とする。学修単位科目のため、事前・事後学習として180分を目安とする自学自習が必要である。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション		講義の方針等について理解する。		
		2週	技術者の責任		製造物責任等を例に、技術者の社会的責任、プロフェSSIONALとしてのあり方を理解する		
		3週	知的財産権①		知的財産権として、著作権、実用新案権、意匠権、商標権などの諸権利についての基本的な知識を習得する。		
		4週	知的財産権②		知的財産権として、特許権と不正競争防止法に関する基本的な知識を習得する。		
		5週	公害問題		水俣病を中心として、公害対策や環境保全の問題について基本的な知識を習得する。		
		6週	環境問題		技術者が関わる環境問題について理解する。		
		7週	異文化理解		公害輸出、および異文化理解の重要性に関する基本的な考え方を身につける。		
		8週	内部告発		技術移転、内部告発に関する基本的な考え方を身につける。		
	4thQ	9週	設計の倫理問題		設計を通じて、多様化する社会に対する技術者の取り組み姿勢とは何かを考える。		
		10週	情報倫理		個人情報、情報セキュリティに関する基本的な知識を習得する。		
		11週	リスクとは何か		リスクとは何かの基本的な知識を理解する。		
		12週	リスクコミュニケーション		リスクコミュニケーションのあり方について理解する。		
		13週	ヒューマンエラー		ヒューマンエラーが生じる仕組みについて理解する。		
		14週	現在の課題①		SDGsの内容等について基本的な知識を習得する。		
		15週	現在の課題②		人工知能がもたらす脅威についての基本的な知識を習得する。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	レポート	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0